

【ESG ミーティング 質疑応答概要】

※主な質疑応答をご紹介します。

＜日 時＞	2019年12月17日（火）	15：30 ～ 17：00
＜出席者＞	明治ホールディングス(株) 取締役常務執行役員 IR 広報部長 サステナビリティ推進部管掌 古田 純 明治ホールディングス(株) 執行役員 サステナビリティ推進部長 兼 (株)明治 執行役員 サステナビリティ推進部長 松岡 伸次 Meiji Seika ファルマ(株) 総務部長 大場 久義	

Q1: 国内において、水資源や脱プラスチックへの取り組みは飲料メーカーや酒類メーカーが先行しているイメージがあります。明治グループが率先してやるべきことや、明治グループだからこそのサステナビリティ活動とはどのようなものですか。

A1: 明治らしさのあるサステナビリティや ESG の取り組みについては課題があると考えています。現段階では残念ながらまだ明治らしさを十分に PR できていない状況ですが、「栄養」というキーワードをベースにして明治独自のサステナビリティ活動に取り組んでいきたいと考えています。

Q2: ミーティング資料ではガーナ産カカオ豆のトレーサブル比率が中南米産よりも低くなっていますが、ガーナ産カカオ豆のトレーサブル比率を高めるために御社として何ができると考えていますか。

A2: 当社では、ガーナや中南米の国々でカカオ農家支援の取り組みである「メイジ・カカオ・サポート」を展開しており、具体的には井戸や蚊帳の寄贈、苗木の無料配布、アートの開催による児童教育への協力などの活動を行っています。ガーナにおいてはこの活動を実施しているエリアを中心にトレーサブルカカオ豆を購入していますが、その購入量はまだ十分とは言えない状況です。引き続き「メイジ・カカオ・サポート」を展開するエリアを中心にトレーサブルカカオ豆調達を増やしていきます。

Q3: カカオ豆やパーム油のサステナブル調達を進めていくことで調達コストは増加することになりますが、コストアップ分の商品価格への転嫁を消費者に理解してもらうための取り組みについてはどのようにお考えですか。

A3: 認証カカオ豆を購入して商品に認証マークを付けても、残念ながら現在の日本においては認知は低く、付加価値に繋がらない状況です。従って、まずは社内努力でコスト吸収していくことが必要だと考えています。そのような中でメーカーとして、また業界全体で PR することで、認証取得した原材料を使用した商品が多少高くても良いという理解がお客様に広まれば有難いと考えています。

なお、原材料に関わらず、CO2 や水、フロンへの取り組みについてはいずれもお金がかかりますが、これをコストと見るのか将来の成長に向けた投資と見るのかで大きく変わってきます。当社は設備や M&A などの投資と同等にサステナビリティへの投資を考えていく方針です。2023 年度までの次期中計をこれから策定していきますが、その中でサステナビリティの投資枠を設定し、開示する考えです。

Q4: 生乳調達に関して、国内の酪農基盤を支えていくことは重要なテーマですが、今後生乳生産量を増やしていくために、御社としてはどのような取り組みを考えていますか。

A4: 生乳の生産基盤強化についてはサステナビリティよりも明治の事業として様々な協力を進めています。サステナビリティの分野においては、酪農乳業の持続可能な取り組みの推進という項目があり、

その中で SDGs への貢献という視点が示されています。他の乳業メーカーや Jミルク、生産者団体等と協力して取り組んでいこうという話を始めたところであり、これから具体策を議論していきます。

Q5: 食品ロス削減への取り組みについて、現状どの程度の廃棄ロスが発生していて、それをこの取り組みの中でどの程度削減していく方針ですか。

A5: 食品ロス削減に関しては、参考データとして製品廃棄ロスは 2016 年度と比べて 2018 年度は約 2 割削減しました。SDGs で定義される半減を目指して引き続き取り組んでまいります。

Q6: サステナブル調達会議には 3 つの分科会がありますが、それぞれ具体的にどのようなことを行っているのですか。

A6: 生乳分科会についてはこれから社内でスタートするという段階です。10 月に生乳調達ガイドラインを策定・公表しており、それを実現するための方法論をこの分科会で議論していきます。カカオ分科会については実際にどのような方法でサステナブルカカオ豆を 100%調達することができるのか、認証豆を購入する方法や第三者に保証してもらう方法など、具体的な方法論をこの分科会で検討していきます。紙分科会については紙に関わる諸々の問題を検討していきます。4 月から FSC 認証紙を本格的に製品に導入しました。4 月の明治おいしい牛乳、明治おいしい低脂肪乳を皮切りとして、きのこの山、たけのこの里、ストロベリーチョコ、ザバスミルクなどに展開しています。また、カタログや名刺などにも FSC 認証マークを入れていく予定です。社内使用のコピー用紙については違法な森林伐採に関与しないことを担保できるようにしていきたいと考えています。

以上